

コラムE6

今泉喜一

形態素こそが基本単位

水は H<sub>2</sub>O だということは誰でも知っている。しかし、昔の人は、水は水で、これが基本単位だと考えていた。水が水素と酸素の化合物だなどは夢にも思わなかった。そもそも「化合物」という考え方もなかった。

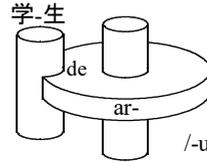
日本語の「学生だ」というときの「だ」も日本人は助動詞という基本単位であると考えていた。しかし、「日本語構造伝達文法」は、それはいわば「化合物」であると主張する。本当の基本単位で表せばこうなる。

-d=a-Øu

ここには省略が働いているから、省略をしなければ、こうなる。

-de=ar-u

この「基本単位」を言語学では「形態素」という。



コE6-1 基本単位

形態素とは、意味と文法的機能をもつ最小言語単位である。

だから、上の「-de, ar-, -u, -d, a-, -Øu」のすべてが、形態素である。本文法では、形態素を「詞」という。「学-生」は「学」と「生」の「基」(合成物)である。

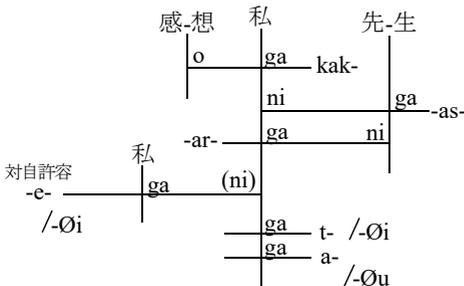
日本語構造伝達文法の構造モデルは、形態素がどのように関係しあっているのかを示している。

いま、図EI-4 (書かされた)を例にとって、文を漢字とかなで示せばこうなる。

私が先生に感想を書かされた。

これを形態素に分解して示せばこうなる。実詞(名詞)は漢字で示す。

私-ga 先生-ni 感-想-o kak-as-ar-e-Øi=t-Øi=a-Øu



表コE6-1 形態素と基

形態素	動詞	kak-
	態詞	-as-, -ar-, -e-
	格詞	o, ga, ni
	実詞	私
	描写詞	-Øi, -Øu
基 (合成体)	動詞基	=t-Øi=a-Øu
	実詞基	感-想, 先生

図コE6-2 形態素表示 書かされた (図EI-4 参照)